

奄美群島加計呂麻島初記録のハムシ類

重藤裕彬¹⁾・吉武 啓²⁾¹⁾ 〒 900-0001 那覇市港町 2-11-1 那覇植物防疫事務所²⁾ 〒 901-0336 糸満市真壁 820 (国研) 農研機構 九州沖縄農業研究センター (糸満駐在)

Leaf Beetles (Coleoptera, Chrysomelidae) New for Kakeroma-jima Is., the Amami Isls., Central Ryukyus, Southwestern Japan

Hiroaki Shigetoh and Hiraku Yoshitake

Summary. The following leaf beetles are newly recorded from Kakeroma-jima Is. in the Amami-Islands, central Ryukyus, southwestern Japan: 1) *Oomorphoides okinawensis*, 2) *Cryptocephalus perelegans*, 3) *Demotina serriventris*, 4) *Demotina elegans*, 5) *Trichochrysea okinawana*, 6) *Colasposoma viridicoeruleum*, 7) *Basilepta uenoi*, 8) *Nodina chalcosoma*, 9) *Monolepta chujoi*, 10) *Charaea amamiensis*, 11) *Aphthona formosana*, 12) *Nonarthra anamiana*, and 13) *Lipromorpha loochooana*. All of them are in common to Amami-Oshima Is., suggesting a similarity of the two islands in chrysomelid fauna.

はじめに

奄美群島におけるハムシ相については、奄美大島から約 100 種が記録されているものの、喜界島では 19 種、請島では 16 種、与路島では 12 種、徳之島では 45 種、沖永良部島では 39 種、与論島では 3 種の分布が知られている程度で全体的に解明度が低いと言わざるを得ない(今坂・祝, 2007; 中峯, 2006; 重藤・小島, 2018; 重藤・吉武, 2018a, 重藤・吉武, 2018b; Suenaga *et al.*, 2017; Suenaga *et al.*, 2018; 滝沢, 2006–2014)。

加計呂麻島(鹿児島県大島郡瀬戸内町)は、奄美大島の南隣りに位置する、面積約 77.25 km²、最高標高約 326 m、人口 1262 人の小島である。これまでに同島においてハムシ類を対象とした調査は行われておらず、ハムシ類の分布記録は全く無い。

2016 年 6 月初旬および 2017 年 10 月に筆者の一人である吉武が加計呂麻島で実施した野外調査で 13 種のハムシ類が得られたので、同島初記録としてここに報告する。なお、学名と和名については、木元・滝沢(1994)および滝沢(2006–2014)、Suenaga *et al.* (2018) に従った。なお、今回使用した検視標本はすべて(国研)農研機構・農業環境変動研究センターに保管されている。

採集記録

ハムシ科 Chrysomelidae Latreille, 1802

ツヤハムシ亜科 Lamprosomatinae Lacordaire, 1848

1. オキナワツヤハムシ *Oomorphoides okinawensis* (Chûjô, 1935)

1 ex., 芝, 8. VI. 2016, 吉武採集。

加計呂麻島初記録。屋久島および種子島、奄美大島、徳之島、沖縄島に生息している。

ツツハムシ亜科 Cryptocephalinae Gyllenhal, 1813

2. キボシツツハムシ *Cryptocephalus perelegans* Baly, 1873

1 ex., 安脚場, 9. VI. 2016, 吉武採集。

加計呂麻島初記録。日本および中国、台湾に分布している。我が国においては本州、四国、九州、南西諸島から記録されている。本種は地域によって色彩の変異が大きく、前胸背板の色彩および鞘翅の斑紋パターンなどにより様々な型に区別されてきた。とくに、南西諸島の前胸背板の黒い個体群や与那国島の不規則な縞模様のある個体群などは変種や亜種として扱われている(Chûjô, 1935; Kimoto, 1974)。

サルハムシ亜科 Eumolpinae Hope, 1840

3. クシバアラゲサルハムシ *Demotina serriventris* Isono, 1990

1 ex., 芝, 8. VI. 2016; 1 ex., 安脚場, 9. VI. 2016, 吉武採集。

加計呂麻島初記録。日本および台湾、ネパールから記録されており、我が国では九州から南西諸島にかけて広く分布する。奄美群島においては、奄美大島、請島、与路島、徳之島から記録されており、奄美群島内に広く分布していると考えられる。

4. ヤクカサハラハムシ *Demotina elegans* Chûjô & Shirôzu, 1955

1 ex., 西阿室, 7. VI. 2016, 吉武採集.

加計呂麻島初記録. 日本および台湾から記録されている. 我が国においては本州および伊豆諸島, 九州, 屋久島, 奄美大島, 徳之島, 沖縄島, 石垣島, 西表島と広く分布している.

5. オキナワトビサルハムシ *Trichochrysea okinawana* Nakane 1956

1 ex., 安脚場, 9. VI. 2016, 吉武採集.

加計呂麻島初記録. 奄美大島および沖縄島, 石垣島, 西表島, 台湾から記録されている.

6. オキナワイモサルハムシ *Colasposoma viridicoeruleum* Motschulsky, 1860

1 ex., 安脚場, 7. VI. 2016 ; 6 exs., 諸鈍, 9. VI. 2016, 吉武採集.

加計呂麻島初記録. 日本, 中国, 台湾, インド, 東南アジアなど世界中から記録されている. 我が国においては屋久島以南の島々で広く分布している. 本種はサツマイモの害虫として扱われており, 成虫は葉を, 幼虫は塊根を食害する (小濱, 2010). 明治 45 年 (1912 年) に本種が沖縄県内のサツマイモ畑で大発生し, 大きな被害をもたらしたという記録がある (喜屋武, 1968).

7. ドウイロムナゲサルハムシ *Basilepta uenoi* Nakane, 1958

1 ex., 芝, 8. VI. 2016, 吉武採集.

加計呂麻島初記録. トカラ列島中之島および奄美大島, 沖縄島から記録されている. 今回の報告は奄美群島において 2 島目の記録である.

8. アオガネヒメサルハムシ *Nodina chalcosoma* Baly, 1874

1 ex., 芝, 8. VI. 2016, 吉武採集.

加計呂麻島初記録. 日本および中国, 台湾から記録されており, 日本国内では本州から南西諸島まで広く分布している.

ヒゲナガハムシ亜科 *Galerucinae* Latreille, 1802

9. コモンアシナガハムシ *Monolepta chujoi* Nakane & Kimoto, 1961

1 ex., 安脚場, 9. VI. 2016, 吉武採集.

加計呂麻島初記録. 奄美大島および徳之島, 石垣島, 西表島に分布している.

10. アマミキバラヒメハムシ *Charaea amamiensis* (Nakane & Kimoto, 1961)

1 ex., 諸鈍, 9. VI. 2016 ; 5 exs., 西阿室, 20. X. 2017, 吉武採集.

加計呂麻島初記録. 本種はこれまで奄美大島および請島, 徳之島, 沖縄島に分布することが知られていた. 奄美群島に広く生息している可能性がある. これまで本種は *Exosoma* 属あるいは *Taphinellina* 属に含められていたが, 両属共に *Charaea* 属のジュニアシノニムとして扱われているため (Kimoto, 2004), 今回の報告では本種を *Charaea* 属の構成種として扱う.

11. タイワンツブノミハムシ *Aphthona formosana* S.-H. Chen, 1934

1 ex., 芝, 8. VI. 2016, 吉武採集.

加計呂麻島初記録. 日本および台湾, ミクロネシアに分布しており, 我が国においては, 四国, 九州, 五島列島, 南西諸島など西日本を中心に広く記録されている.

12. カワリヒゲトノミハムシ *Nonarthra amamiana* Chûjô, 1957

3 exs., 芝, 8. VI. 2016, 吉武採集.

加計呂麻島初記録. 奄美大島および請島, 沖縄島, 北大東島から記録されており, 今回の記録は奄美群島で 3 島目の記録となる. 元来, 日本および中国, 台湾, アフガニスタン, ブータン, ネパール, インドなど汎世界的に分布するとされていたが, 近年 *Nonarthra* 属が分類学的に再検討された結果, 南西諸島に分布する個体群は *N. amamiana* として扱われることとなった (Lee, 2014).

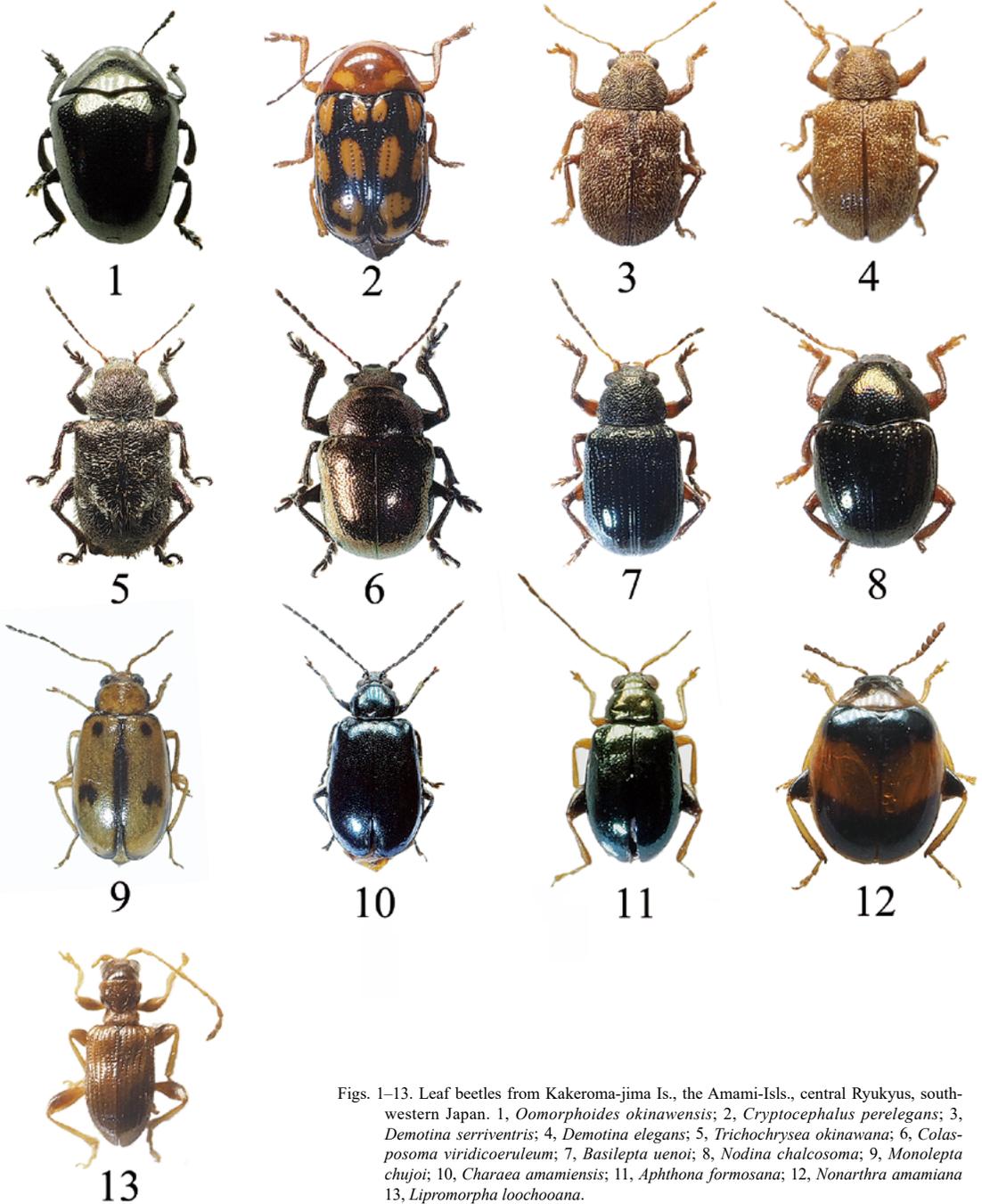
13. リュウキュウクビボソトビハムシ *Lipromorpha loochooana* Chûjô, 1961

1 ex., 安脚場, 9. VI. 2016, 吉武採集.

加計呂麻島初記録. 日本および中国, 台湾などに分布している. 日本では奄美大島および徳之島, 沖縄島から記録されており, 今回の記録は奄美群島で 3 島目の記録となる.

おわりに

本報告によって加計呂麻島から 13 種のハムシ類が初めて記録された. これらは琉球列島において普通に見られる種であり, 全種が近隣の主要島である奄美大島からも記録されている. 加計呂麻島と奄美大島の植生や気候などの自然環境はよく似ている (水田, 2016). また, オオツボキノコゴミ



Figs. 1–13. Leaf beetles from Kakeroma-jima Is., the Amami-Isles., central Ryukyus, southwestern Japan. 1, *Oomorhoides okinawensis*; 2, *Cryptocephalus perelegans*; 3, *Demotina serriventris*; 4, *Demotina elegans*; 5, *Trichochrysea okinawana*; 6, *Colaspoma viridicoeruleum*; 7, *Basilepta uenoi*; 8, *Nodina chalcosoma*; 9, *Monolepta chujoi*; 10, *Charaea amamiensis*; 11, *Aphthona formosana*; 12, *Nonarthra amamiana*; 13, *Lipromorpha loochooana*.

ムシダマシやアマミコブヒゲカミキリ、スジプトヒラタクワガタ、アマミマルバネクワガタなどの地域固有種が共通して見られることから両島（および徳之島）の甲虫相は類似性が高いと言える。加計呂麻島は奄美大島と比較して面積が大変小さいた

め、大幅なハムシ類の種数の増加は望めないと思われるが、奄美大島から約100種のハムシ類が記録されていることを考え合わせると、加計呂麻島におけるハムシ相の解明度は依然として低いままであると言わざるを得ない。今回の加計呂麻島に

おける野外調査はごく短期間であったため、今後異なる時期に同島にける調査を行うことで、アマミカバイロハムシやミヤモトホソヒラタハムシなど、奄美大島と共通の地域固有種の発見が期待される。

引用文献

- Beenen, R. & C.-F. Lee, 2010. Two new *Erranoides* species from P. R. China and Taiwan (Coleoptera: Chrysomelidae: Galerucinae). *Genus*, 21: 257–264.
- Chûjô, 1935. Chrysomelidae of Loo-Choo Archipelago (I). *Transactions, Natural History Society of Formosa, Taihoku*, 25: 69–89.
- 今坂正一・祝 輝明, 2007. 喜界島で 2007 年に採集した甲虫. *Satsuma, Kagoshima*, (137): 119–129.
- Kimoto, S., 1974. On some infraspecific variation of Chrysomelidae beetles (Coleoptera) occurring in the Ryukyu archipelago. *Kontyû*, Tokyo, 42: 270–282.
- Kimoto, S., 2004. New or little known Chrysomelidae (Coleoptera) from Nepal, Bhutan and the northern territories of India subcontinent. 北九州市立自然史・歴史博物館研究報告, A 類, 自然史, (2): 47–63.
- 木元新作・滝沢春雄, 1994. 日本産ハムシ類幼虫・成虫分類図説. 539 pp. 東海大学出版, 東京.
- 喜屋武良好, 1968. 明治末期と大正時代の沖縄における害虫事情. *沖縄農業*, 7: 45–47.
- 小濱継雄, 2010. 沖縄県におけるサツマイモの食葉性害虫. *沖縄県農業研究センター研究報告*, (4): 27–31.
- Lee, C.-F., 2014. Review of the genus *Nonarthra* Baly (Coleoptera: Chrysomelidae: Galerucinae: Alticini) from Taiwan and Japan, with descriptions of two new species. *Japanese Journal of systematic Entomology*, Matsuyama, 20: 201–63.
- 中峯浩司, 2006. 奄美群島請島 2004 年 9 月の昆虫類. 鹿児島県立博物館研究報告, (25): 63–67.
- 水田 拓, 2016. 奄美—その自然と概要. Pp. 1–17, 水田 拓 (編著), 奄美群島の自然史学 亜熱帯島嶼の生物多様性. 388 pp. 東海大学出版部, 東京.

- 重藤裕彬・小島弘昭, 2018. 奄美群島請島未記録のハムシ科 4 種. *さやばねニューシリーズ*, (31): 12–13.
- 重藤裕彬・吉武 啓, 2018a. 奄美群島請島において冬季に採集されたハムシ類. *さやばねニューシリーズ*, (29): 17–19.
- 重藤裕彬・吉武 啓, 2018b. 奄美群島与路島において冬季に採集されたハムシ類. *月刊むし*, (568): 34–37.
- Suenaga, H., C.-F. Lee, & Bezdek, J., 2017. Two new species of the genus *Menippus* Clark (Coleoptera: Chrysomelidae: Galerucinae) from islands of Ryukyu-rettô, Japan, and redescription of *M. issikii* (Chûjô). *Entomologische Blätter und Coleoptera*, 113: 231–240.
- Suenaga, H., H. Shigetoh, & H. Yoshitake, 2018. Distribution records of leaf beetles (Coleoptera, Chrysomelidae) from Tokunoshima Is., the Amami Is., central Ryukyus, southwestern Japan (I). *Elytra, New Series*, Tokyo, 8: 103–113.
- 滝沢春雄, 2006. 日本産ハムシ科生態覚書 (1). *神奈川虫報*, (156): 1–8.
- 滝沢春雄, 2007. 日本産ハムシ科生態覚書 (2). *神奈川虫報*, (157): 17–26.
- 滝沢春雄, 2007. 日本産ハムシ科生態覚書 (3). *神奈川虫報*, (158): 37–48.
- 滝沢春雄, 2009. 日本産ハムシ科生態覚書 (4). *神奈川虫報*, (168): 1–11.
- 滝沢春雄, 2011. 日本産ハムシ科生態覚書 (5). *神奈川虫報*, (173): 35–51.
- 滝沢春雄, 2012. 日本産ハムシ科生態覚書 (6). *神奈川虫報*, (177): 33–51.
- 滝沢春雄, 2013. 日本産ハムシ科生態覚書 (7). *神奈川虫報*, (179): 17–33.
- 滝沢春雄, 2014. 日本産ハムシ科生態覚書 (8). *神奈川虫報*, (182): 37–46.

(2019 年 1 月 17 日受領, 2019 年 5 月 10 日受理)

【短報】群馬県および茨城県におけるサメハダマルケシゲンゴロウの初記録

サメハダマルケシゲンゴロウ *Hydrovatus stridulus* Biström, 1997 は、近年、国内において分布が確認された種である (稲畑, 2016)。同属のマルケシゲンゴロウ *H. subtilis* Sharp, 1882 と記録が混同されていた事例も報告されていることから (渡部, 2016)、各地において注目が集まった結果、本州中部以西および南西諸島から多数の追加記録が報告され (渡部ほか, 2016; 渡部, 2016; 渡部・保科, 2016; 戸田, 2017; 吉村・渡部, 2017; 末長ほか, 2017; 仲田, 2018 など)、現時点における本種の国内分布は埼玉県が東限とされている (亀澤・渡部, 2018)。筆者らはこれまで記録のなかった群馬県および茨城県において本種を確認したので報告する。なお、標本は佐野と渡部がそれぞれ保管している。

2 ♂♂, 群馬県板倉町海老瀬, 27. V. 2011, 佐野採集。

1 ♂ 1 ♀, 茨城県潮来市釜谷中池, 6. IX. 2017, 新中・内田採集; 1 ♂, 同所, 23. VIII. 2018, 内田採集 (図 1)。

群馬県の生息地は、アシやマコモ、ハス、ヒシ等が繁茂する比較的面积の広い池で



図 1. 茨城県産サメハダマルケシゲンゴロウ。